

## 政策 17 「消費者ニーズに即した産業活動の展開」

政策 17「消費者ニーズに即した産業活動の展開」は、多様化する消費者ニーズに対応し、流通現場の目線に立った県産農林水産物の生産と販売力の向上を目指す様々な施策で構成されている。

### 1. 政策 17 の認知度

#### 1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 33.7%、低認知度群は 66.4%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性（36.0%）が女性（31.4%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（44.2%）が 65 歳未満（29.9%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

大崎圏域（40.5%）が、回答者全体と比較して 6.8 ポイント高い。

石巻圏域（25.0%）が、回答者全体と比較して 8.7 ポイント低い。

(%)

政策 17 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	2.3	31.4	33.7	52.8	13.6	66.4	100.0

性別	男性	2.5	33.5	36.0	50.0	14.0	64.0	100.0
	女性	2.0	29.4	31.4	55.7	12.9	68.6	100.0
年齢別	65 歳未満	2.0	27.9	29.9	55.9	14.3	70.2	100.0
	65 歳以上	3.2	41.0	44.2	44.9	10.9	55.8	100.0

圏域別	仙台	0.5	30.5	31.0	54.8	14.3	69.1	100.0
	仙南	2.1	30.0	32.1	53.2	14.6	67.8	100.0
	大崎	3.1	37.4	40.5	46.7	12.8	59.5	100.0
	栗原	3.8	31.0	34.8	54.8	10.3	65.1	100.0
	登米	1.4	37.1	38.5	47.9	13.6	61.5	100.0
	石巻	2.7	22.3	25.0	62.5	12.5	75.0	100.0
	気山沼・本吉	1.7	31.2	32.9	51.9	15.2	67.1	100.0

有効回答者数 1,607 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 40.0%、低認知度群は 59.9%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域(72.7%)が 32.7 ポイント、栗原圏域(57.1%)が 17.1 ポイント、石巻圏域(52.2%)が 12.2 ポイント、気仙沼・本吉圏域(50.0%)が 10 ポイント高い。

回答者全体と比較して、仙南圏域(32.1%)が 7.9 ポイント、仙台圏域(33.4%)が 6.6 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 52.3%、低認知度群は 47.8%である。

(%)

政策 17 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	3.3	36.7	40.0	52.1	7.8	59.9	100.0	
圏 域 別	仙台	2.6	30.8	33.4	57.3	9.4	66.7	100.0
	仙南	7.1	25.0	32.1	55.4	12.5	67.9	100.0
	大崎	3.9	37.7	41.6	51.9	6.5	58.4	100.0
	栗原	0.0	57.1	57.1	42.9	0.0	42.9	100.0
	登米	9.1	63.6	72.7	27.3	0.0	27.3	100.0
	石巻	0.0	52.2	52.2	34.8	13.0	47.8	100.0
	気仙沼・本吉	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	100.0

有効回答者数 332 名

学識者等全体	4.5	47.8	52.3	43.3	4.5	47.8	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

## 2. 政策 17 の関心度

### 1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 72.6%、低関心度群は 27.4%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（73.0%）が女性（72.4%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（78.2%）が 65 歳未満（70.6%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

栗原圏域（78.1%）では、回答者全体と比較して 5.5 ポイント高い。

石巻圏域（64.0%）では、回答者全体と比較して 8.6 ポイント低い。

(%)

政策 17 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	18.6	54.0	72.6	22.9	4.5	27.4	100.0

性別	男性	19.3	53.7	73.0	22.6	4.4	27.0	100.0
	女性	17.7	54.7	72.4	23.0	4.6	27.6	100.0
年齢別	65 歳未満	15.2	55.4	70.6	25.3	4.0	29.3	100.0
	65 歳以上	27.4	50.8	78.2	15.8	5.9	21.7	100.0

圏域別	仙台	14.3	59.5	73.8	24.3	1.9	26.2	100.0
	仙南	18.6	53.0	71.6	24.2	4.2	28.4	100.0
	大崎	21.6	53.4	75.0	20.7	4.3	25.0	100.0
	栗原	23.0	55.1	78.1	17.7	4.2	21.9	100.0
	登米	21.1	49.5	70.6	24.3	5.0	29.3	100.0
	石巻	11.8	52.2	64.0	32.3	3.8	36.1	100.0
	気山沼・本吉	17.2	56.9	74.1	18.4	7.5	25.9	100.0

有効回答者数 1,630 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 71.7%、低関心度群は 28.3%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域（81.9%）では 10.2 ポイント、気仙沼・本吉圏域（80.6%）では 8.9 ポイント高い。

学識等全体における高関心度群は 82.1%、低関心度群は 17.9%である。

(%)

政策 17 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	13.9	57.8	71.7	25.0	3.3	28.3	100.0	
圏 域 別	仙台	12.8	67.5	28.2	4.3	32.5	100.0	
	仙南	12.5	60.7	73.2	23.2	3.6	26.8	100.0
	大崎	14.3	58.4	72.7	26.0	1.3	27.3	100.0
	栗原	0.0	71.4	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	45.5	36.4	81.9	18.2	0.0	18.2	100.0
	石巻	8.7	65.2	73.9	13.0	13.0	26.0	100.0
	気仙沼・本吉	16.7	63.9	80.6	19.4	0.0	19.4	100.0

有効回答者数 332 名

学識者等全体	22.4	59.7	82.1	17.9	0.0	17.9	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 67 名

### 3. 政策 17 の重視度・満足度

#### 3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 38.8%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 10.0 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 33.4%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。  
重視度の中央値は 75.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。  
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。  
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。  
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。  
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 29.9%と推定できる。

政策 17 「消費者ニーズに即した産業活動の展開」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	18.1	(81.9)
満足度 60点未満の割合		56.9
要検討領域にある回答者全体の割合		38.8

有効回答者数；重視度 1,615 人、満足度 1,598 人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策17重視度	政策17満足度
度数	有効	1615	1598
	欠損値	106	123
平均値		70.89	52.14
平均値の標準誤差		.428	.420
中央値		70.00	50.00
最頻値		70 <sup>a</sup>	50
標準偏差		17.185	16.779
分散		295.332	281.549
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

a. 多重モードがあります。最小値が表示されます。

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	60.0	10.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	80.0	65.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	14.9	(85.1)
満足度 60点未満の割合		48.3
要検討領域にある回答者全体の割合		33.4

有効回答者数；重視度 335 人、満足度 333 人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策17重視度	政策17満足度
度数	有効	335	333
	欠損値	3	5
平均値		69.85	54.70
平均値の標準誤差		.892	.836
中央値		70.00	60.00
最頻値		70	60
標準偏差		16.328	15.251
分散		266.594	232.590
範囲		90	90
最小値		10	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	60.00
	60	75.00	60.00
	75	80.00	65.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	75.0	60.0	15.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	80.0	70.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	14.9	(85.1)
満足度 60点未満の割合		44.8
要検討領域にある回答者全体の割合		29.9

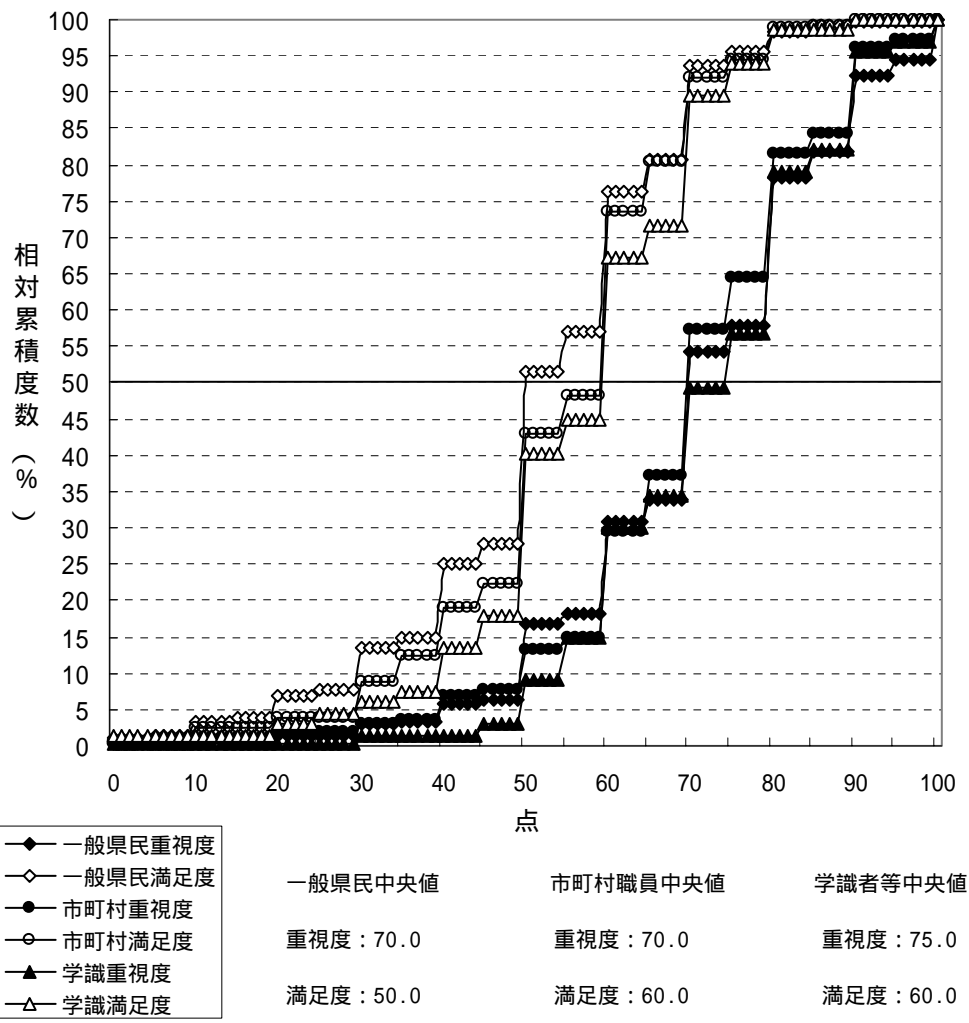
有効回答者数；重視度 67 人、満足度 67 人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策17重視度	政策17満足度
度数	有効	67	67
	欠損値	2	2
平均値		72.24	57.09
平均値の標準誤差		1.751	1.761
中央値		75.00	60.00
最頻値		80	50 <sup>a</sup>
標準偏差		14.336	14.411
分散		205.518	207.689
範囲		70	75
最小値		30	15
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	50.00
	40	70.00	51.00
	50	75.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	70.00

a. 多重モードがあります。最小値が表示されます。

「政策17 消費者ニーズに即した産業活動の展開」



## 3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

## 3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、女性 (55.0 点) が男性 (50.0 点) よりも高い。

重視度と満足度の中央値の差は、男性 (20.0 点) が女性 (15.0 点) よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、男性女性ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、男性(10.0 点)が女性(7.5 点)よりも大きい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 39.5%、女性 38.0%と推定できる。

## 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値 (点)

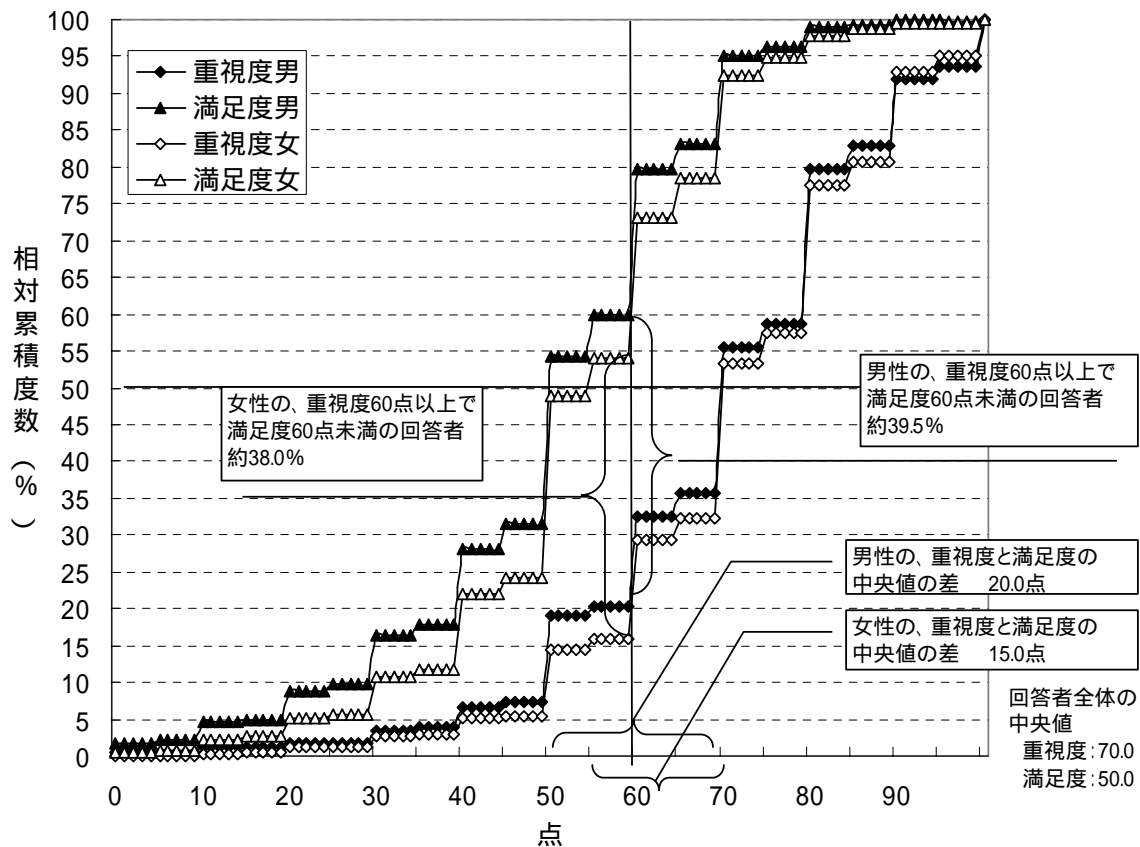
		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	10.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	7.5

## 要検討領域にある回答者全体の割合 (推定) (%)

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	20.4 (79.6)	16.0 (84.)
満足度 60 点未満の割合	59.9	54.0
要検討領域にある回答者全体の割合	39.5	38.0



(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策17重視度	政策17満足度
度数	有効	765	759
	欠損値	38	44
平均値		70.10	50.37
平均値の標準誤差		.645	.630
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.840	17.343
分散		318.282	300.787
範囲		100	95
最小値		0	0
最大値		100	95
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策17重視度	政策17満足度
度数	有効	832	821
	欠損値	64	75
平均値		71.55	53.85
平均値の標準誤差		.571	.561
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.464	16.062
分散		271.059	257.972
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	65.00

### 3 2 - 2 65 歳年齢区別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満（50.0 点）が 65 歳以上（55.0 点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満（20.0 点）が 65 歳以上（15.0 点）よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 39.2%、65 歳以上 37.4%と推定できる。

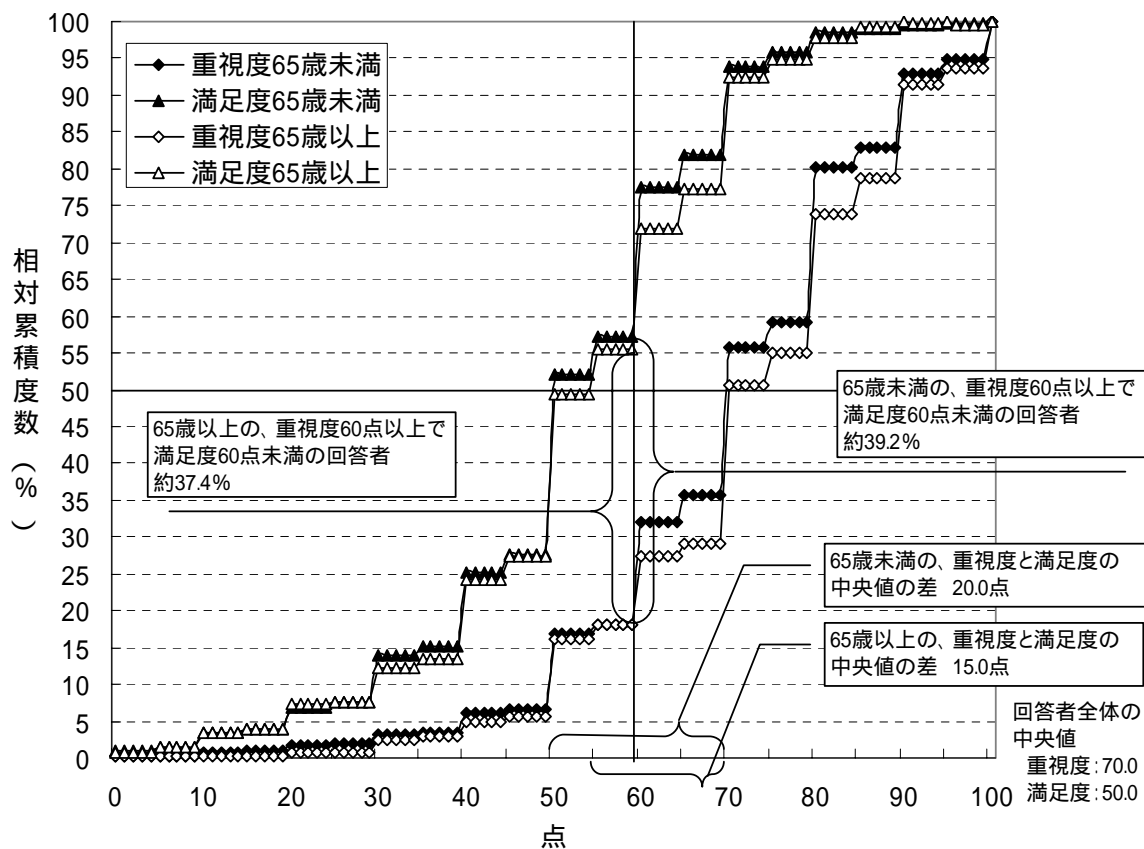
#### 中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	45.0
	かい離	20.0	20.0	15.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	85.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	12.5
	満足度	10.0	10.0	10.0

#### 要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	18.1 (81.9)	18.1 (81.9)
満足度 60 点未満の割合	57.3	55.5
要検討領域にある回答者全体の割合	39.2	37.4

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策17重視度	政策17満足度
度数	有効	1186	1178
	欠損値	54	62
平均値		70.30	51.91
平均値の標準誤差		.501	.487
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.248	16.700
分散		297.503	278.884
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策17重視度	政策17満足度
度数	有効	409	400
	欠損値	48	57
平均値		72.41	52.99
平均値の標準誤差		.828	.851
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	50
標準偏差		16.745	17.014
分散		280.399	289.486
範囲		90	90
最小値		10	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	45.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	65.00

### 3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、栗原圏域(75.0点)が回答者全体(70.0点)よりも5ポイント高い。

満足度の中央値は、大崎圏域(60.0点)が回答者全体(50.0点)よりも10ポイント、石巻圏域(55.0点)よりも5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、栗原圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、大崎圏域(12.5点)が回答者全体(10.0点)よりも大きく、栗原圏域(8.8点)、登米圏域(5.0点)、石巻圏域(5.0点)の3圏域が小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、登米圏域(80.0点)が回答者全体(70.0点)よりも10ポイント高い。

満足度の中央値は、石巻圏域(50.0点)が回答者全体(60.0点)よりも10ポイント、仙南圏域(55.0点)、栗原圏域(55.0点)、気仙沼・本吉圏域(55.0点)の3圏域が5ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、栗原圏域(15.0点)、気仙沼・本吉圏域(15.0点)の2圏域が回答者全体(10.0点)よりも大きく、大崎圏域(8.8点)、登米圏域(7.5点)の2圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、栗原圏域(12.5点)、石巻圏域(12.5点)、大崎圏域(10.0点)の3圏域が回答者全体(7.5点)よりも大きく、気仙沼・本吉圏域(5.0点)が小さい。

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	75.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	60.0	50.0	50.0	55.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	10.0	25.0	20.0	15.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	45.0	45.0	50.0	50.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	15.0	15.0	10.0	10.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	85.0	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	70.0	62.5	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	10.0	22.5	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	12.5	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	12.5	8.8	5.0	5.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	80.0	70.0	70.0
	満足度	60.0	60.0	55.0	60.0	55.0	60.0	50.0	55.0
	かい離	10.0	10.0	15.0	10.0	15.0	20.0	20.0	15.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	62.5	60.0	70.0	60.0	60.0
	満足度	50.0	50.0	45.0	50.0	50.0	55.0	35.0	50.0
	かい離	10.0	10.0	15.0	12.5	10.0	15.0	25.0	10.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	90.0	85.0	80.0	90.0
	満足度	65.0	65.0	60.0	70.0	75.0	70.0	60.0	60.0
	かい離	15.0	15.0	20.0	10.0	15.0	15.0	20.0	30.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	8.8	15.0	7.5	10.0	15.0
	満足度	7.5	7.5	7.5	10.0	12.5	7.5	12.5	5.0

#### 4. 政策 17 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 6 「安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化」(30.6%) である。

第 2 位は施策 7 「県産品の流通・販売の促進」(25.2%) である。

第 3 位は施策 1 「米、麦、大豆の高品質化と低コスト化」(17.4%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 7 「県産品の流通・販売の促進」(27.8%) である。

第 2 位は施策 6 「安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化」(26.0%) である。

第 3 位は施策 1 「米、麦、大豆の高品質化と低コスト化」(12.8%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 7 「県産品の流通・販売の促進」(33.8%) である。

第 2 位は施策 6 「安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化」(30.9%) である。

第 3 位は施策 4 「県産水産物のブランド化と品質の向上」(10.3%) である。

性別

一般県民では、

第 1 位は、男性では施策 7 「県産品の流通・販売の促進」、女性では施策 6 「安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化」である。

第 2 位は、男性では施策 6 「安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化」、女性では施策 7 「県産品の流通・販売の促進」である。

第 3 位は、男性女性とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満 65 歳以上とも施策 6 「安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化」である。

第 2 位は、65 歳未満では施策 7 「県産品の流通・販売の促進」、65 歳以上では施策 1 「米、麦、大豆の高品質化と低コスト化」である。

第 3 位は、65 歳未満では施策 1 「米、麦、大豆の高品質化と低コスト化」、65 歳以上では施策 7 「県産品の流通・販売の促進」である。

#### 圏域別

一般県民では、

第1位は、仙台、仙南、大崎、石巻の4圏域では施策6「安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化」、栗原、登米、気仙沼・本吉の3圏域では施策7「県産品の流通・販売の促進」である。

第2位は、仙台、仙南、石巻の3圏域では施策7「県産品の流通・販売の促進」、大崎、登米の2圏域では施策1「米、麦、大豆の高品質化と低コスト化」、栗原、気仙沼・本吉の2圏域では施策6「安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化」である。

第3位は、仙台、仙南、栗原の3圏域では施策1「米、麦、大豆の高品質化と低コスト化」、石巻、気仙沼・本吉の2圏域では施策4「県産水産物のブランド化と品質の向上」、大崎圏域では施策7「県産品の流通・販売の促進」、登米圏域では施策6「安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化」である。

市町村職員では、

第1位は、仙台、大崎、栗原、石巻の4圏域では施策6「安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化」、仙南、登米の2圏域では施策7「県産品の流通・販売の促進」、気仙沼・本吉圏域では施策4「県産水産物のブランド化と品質の向上」である。

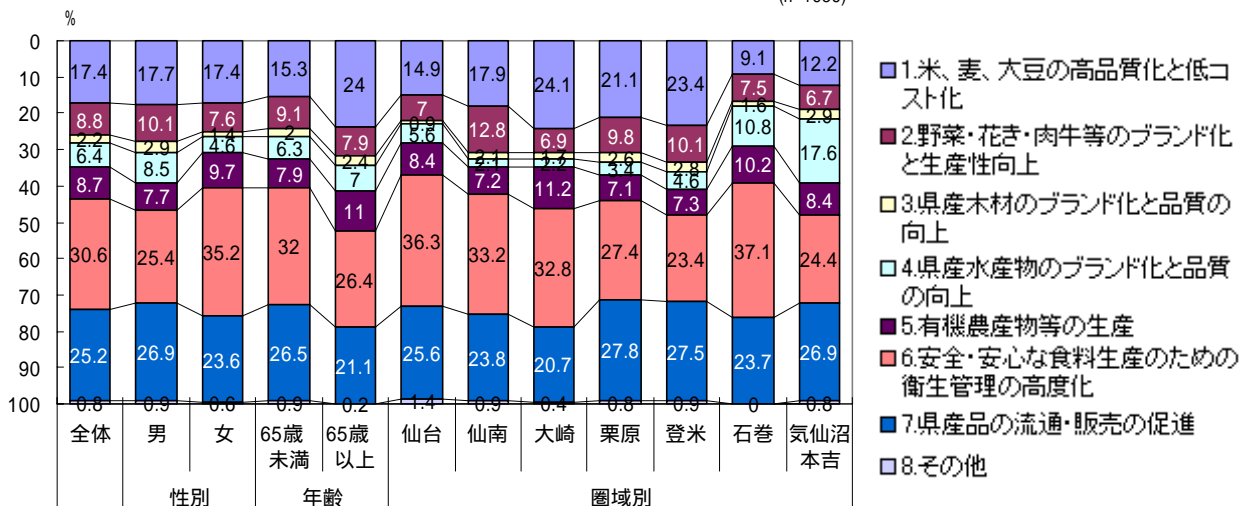
第2位は、仙台、大崎、気仙沼・本吉の3圏域では施策7「県産品の流通・販売の促進」、仙南、登米、石巻の3圏域では施策2「野菜・花き・肉牛等のブランド化と生産性向上」、栗原圏域では施策1「米、麦、大豆の高品質化と低コスト化」、登米圏域では施策5「有機農産物等の生産」と施策6「安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化」、石巻圏域では施策4「県産水産物のブランド化と品質の向上」である（登米圏域では施策2と施策5と施策6が、石巻圏域では施策2と施策4が共に第2位になっている）。

第3位は、仙台、大崎の2圏域では施策1「米、麦、大豆の高品質化と低コスト化」、栗原、気仙沼・本吉の2圏域では施策2「野菜・花き・肉牛等のブランド化と生産性向上」、仙南圏域では施策5「有機農産物等の生産」と施策6「安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化」、栗原圏域では施策7「県産品の流通・販売の促進」である（仙南圏域では施策5と施策6が、栗原圏域では施策2と施策7が共に第3位になっている）。

政策 17 「消費者ニーズに即した産業活動の展開」

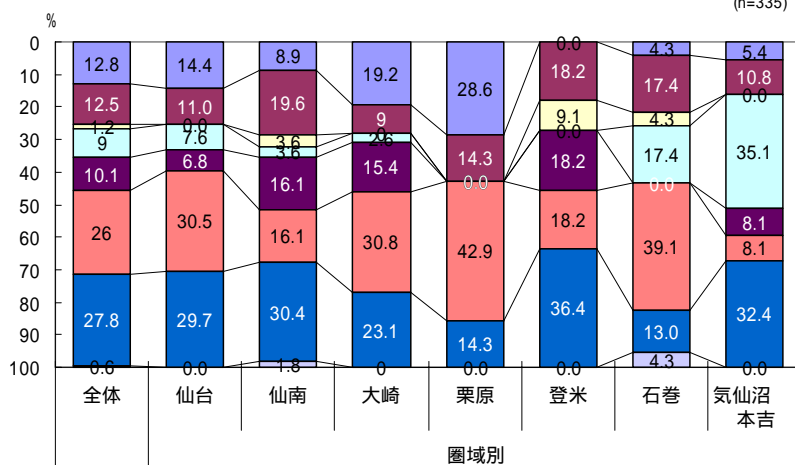
【一般県民】

「政策17 消費者ニーズに即した産業活動の展開」取組み優先度 (n=1636)



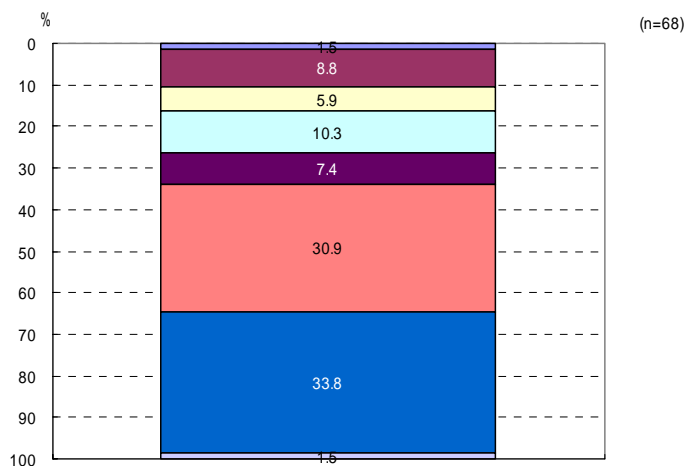
【市町村職員】

「政策17 消費者ニーズに即した産業活動の展開」取組み優先度 (n=335)



【学識者等】

「政策17 消費者ニーズに即した産業活動の展開」取組み優先度 (n=68)





政策 17 「消費者ニーズに即した産業活動の展開」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.米、麦、大豆の高品質化と低コスト化	17.4	17.7	17.4	15.3	24.0	14.9	17.9	24.1	21.1	23.4	9.1	12.2
2	2.野菜・花き・肉牛等のブランド化と生産性向上	8.8	10.1	7.6	9.1	7.9	7.0	12.8	6.9	9.8	10.1	7.5	6.7
3	3.県産木材のブランド化と品質の向上	2.2	2.9	1.4	2.0	2.4	0.9	2.1	1.7	2.6	2.8	1.6	2.9
4	4.県産水産物のブランド化と品質の向上	6.4	8.5	4.6	6.3	7.0	5.6	2.1	2.2	3.4	4.6	10.8	17.6
5	5.有機農産物等の生産	8.7	7.7	9.7	7.9	11.0	8.4	7.2	11.2	7.1	7.3	10.2	8.4
6	6.安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化	30.6	25.4	35.2	32.0	26.4	36.3	33.2	32.8	27.4	23.4	37.1	24.4
7	7.県産品の流通・販売の促進	25.2	26.9	23.6	26.5	21.1	25.6	23.8	20.7	27.8	27.5	23.7	26.9
8	8.その他	0.8	0.9	0.6	0.9	0.2	1.4	0.9	0.4	0.8	0.9	0.0	0.8

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.米、麦、大豆の高品質化と低コスト化	12.8	14.4	8.9	19.2	28.6	0.0	4.3	5.4
2	2.野菜・花き・肉牛等のブランド化と生産性向上	12.5	11.0	19.6	9.0	14.3	18.2	17.4	10.8
3	3.県産木材のブランド化と品質の向上	1.2	0.0	3.6	0.0	0.0	9.1	4.3	0.0
4	4.県産水産物のブランド化と品質の向上	9.0	7.6	3.6	2.6	0.0	0.0	17.4	35.1
5	5.有機農産物等の生産	10.1	6.8	16.1	15.4	0.0	18.2	0.0	8.1
6	6.安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化	26.0	30.5	16.1	30.8	42.9	18.2	39.1	8.1
7	7.県産品の流通・販売の促進	27.8	29.7	30.4	23.1	14.3	36.4	13.0	32.4
8	8.その他	0.6	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.米、麦、大豆の高品質化と低コスト化	1.5
2	2.野菜・花き・肉牛等のブランド化と生産性向上	8.8
3	3.県産木材のブランド化と品質の向上	5.9
4	4.県産水産物のブランド化と品質の向上	10.3
5	5.有機農産物等の生産	7.4
6	6.安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化	30.9
7	7.県産品の流通・販売の促進	33.8
8	8.その他	1.5

